

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程学習指導	①生徒一人ひとりに応じた指導と生徒の主体性を育む学習指導を推進する。 ②福祉マインドを培う教育活動を推進する。	①ICT機器等の活用レベルを向上させ、一人一台端末を活用した学びの充実を図るとともに、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の実践をとおして、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。 ②横浜市立日野中央高等特別支援学校との相互連携と生徒相互の交流により「福祉マインド」を培う。	①ICT機器や指導法に関する校内研修会を通して、ICT機器の活用について教員の理解を深め、積極的な活用を促すとともに、情報共有を図り、課題配信や提出、教科ごとに有効な活用方法の実践に結び付ける。 ②「総合的な探究の時間」において、探究活動等を通して横浜市立日野中央高等特別支援学校との相互連携を図るとともに、地域施設との交流の機会を設けることにより、2・3学年において福祉マインドを培う。	①ICT機器・学習支援ソフトを活用し、「個別最適な学び」や「協働的な学び」をとおして、生徒が主体的に学習できるような授業改善への取組が確認できたか。 ②1学年の「総合的な学習の時間(福祉探究)」を充実させることができたか。また、2・3学年において学校行事を含め地域施設との交流の機会を増やすことができたか。					
2 生徒指導・支援	豊かな人間性と社会性を育み、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。	①日頃から生活態度(特にスマートフォン関連)への注意喚起を通し、規範意識の醸成を図る。 ②支援を必要とする生徒のための教育相談体制をさらに充実させる。 ③生徒が主体的に企画・運営を行う行事を確立する。	①他グループや学年と情報を共有し問題行動等の未然防止に取り組む。 ①服装・身だしなみ・頭髪・遅刻及びICT機器の扱いなど社会人としてのマナーの向上に取り組む。 ②校内外の教育相談機関と連携し組織的な支援体制を充実させる。 ③行事の実施等にあたり、ICT機器を活用し、生徒が主体的に情報発信や意見集約などを行うことにより、生徒会、学級、学年及び部活動の連携を図る。	①生徒指導に際して複数体制で適切に行われていたか。 ①ICT機器の利用に関するマナー教室を実施し、トラブルを未然に防止できたか。 ①学年集会等を通して規範意識を向上させることができたか。 ②全職員で教育相談体制を理解、確立することができたか。各生徒に適切な支援を行うことができたか。 ③生徒会本部や各委員会等から生徒へ向けた発信を定期的に行うことができたか。					
3 進路指導・支援	①生徒の主体的な活動を通して、進路実現・自己実現を果たす力を育成する。 ②進路指導計画の充実を図る。	①3年間を見通した進路計画の下、生徒が自己実現に向けて、学び実践する場を提供し進路を自ら切り拓く姿勢を育成する。 ②希望する進路に対応した進路指導についてICT機器を有効活用し、生徒へ情報提供等を行うことにより生徒の主体的で適切な進路選択に向けた指導を推進する。 ③ICT機器を活用しキャリア・パスポートを有効活用する。	①定期的な外部試験により実力の定着を図り、学習クラウドサービスClassiを効果的に活用し、生徒の進路実現を目指す。 ②Googleクラスルームを作り、効果的に情報提供を行い、LHR等で進路別ガイダンスを行うなど生徒の進路選択に資するキャリア教育を推進する。 ③Classiのポートフォリオ機能を活用し、定期的に記録を残す。	①Classiを効果的に活用し、生徒の実力の向上、進路実現ができたか。 ②計画的にキャリア教育に取り組むことができたか。 ③定期的に記録を残すことができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	地域との連携・協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	①地域貢献活動を実施する。 ②地域と連携した防災体制を構築する。	①各学年及び部活動等有志を中心に地域清掃を行う。 ②生徒有志による地域の防災訓練に参加する。	①多くの生徒が地域清掃に参加できたか。 ②多くの生徒が町内会の防災訓練に参加できたか。					
5	学校管理 学校運営	①生徒が安心して通える、安全で信頼される学校づくりを進める。 ②教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	①校舎内外の安心・安全な環境整備と清潔な学習環境を維持する。 ①災害発生時に対応できる体制の強化を図る。 ②職場環境の改善を図る等職員の働き方改革を推進する。 ③不祥事防止に努める。	①校舎内外の環境を把握・確認し、他グループ等と連携し改善を図る。 ①生徒が主体的に取り組むことができるよう美化委員会を活用して校内美化・衛生に努める。 ①災害時の安全に配慮した防災計画を企画する。 ②職員、PTA等から意見を集約し検討する。 ③不祥事防止会議を中心に、不祥事の根絶に向けた企画・立案・研修・点検を行い、意識高揚を図る。	①現状を把握し、適切に対応できたか。 ①美化委員会は主体的に活動できたか。 ①実際の災害を想定した避難訓練が実施できたか。 ②教職員等の提案・意見を集約し課題を洗い出すことができたか。 ③職員に対する不祥事防止研修等に取り組んだか。					